



# 支部だより

## 第 66 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2008.5.20

### 目次

- ・ 2008 年度（平成 20 年度）の始まりにあたって…………… 1
- ・ 2008 年度（平成 20 年度）中部支部総会のお知らせ…………… 2
- ・ 議案(1)：2007 年度（平成 19 年度）中部支部事業報告…………… 2
- ・ 議案(2)：2007 年度（平成 19 年度）中部支部会計報告…………… 3
- ・ 議案(3)：2007 年度（平成 19 年度）中部支部会計監査報告…………… 4
- ・ 議案(4)：2008 年度（平成 20 年度）中部支部事業計画案…………… 4
- ・ 議案(5)：2008 年度（平成 20 年度）中部支部予算案…………… 4
- ・ 中部支部第 17 期役員の補充…………… 5
- ・ 中部支部第 18 期役員選挙のお知らせ…………… 5
- ・ 第 14 回公開気象講座のお知らせ…………… 7
- ・ 平成 20 年度支部研究会のお知らせ…………… 7

### 2008 年度（平成 20 年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 牧原康隆

5 月 8 日に開催された本年度第一回の日本気象学会中部支部理事会において、役員の補充に関する提案が承認され、支部長を仰せつかりました。皆様からご支援ご協力をいただきながら、中部支部の発展のために微力ではありますが最善を尽くしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、近年は、地球温暖化はもとより、日本や世界の各地で発生する異常気象や自然災害のため、気象に対する一般の方の関心はかつてない高まりを見せております。一方で、気象に関するさまざまな現象とその原因の解明、観測技術や予測技術の開発は、計算機資源の充実にも助けられ、高度化とともに進展を続けています。

気象庁では、今年 3 月に「竜巻注意情報」、「異常天候早期警戒情報」の運用を開始し、5 月には市町村毎の基準に基づく大雨・洪水・高潮注意報・警報の改善を行い、来年には台風の 5 日先までの予報を開始することとしておりますが、これらは、気象に関する研究の成果と社会の関心と要請に基づくものです。しかし、情報化社会の進展はとどまることなく、さらなる現象の究明や予測精度の向上が求められております。

このような中で、気象学会の目的のひとつである、「気象学の進歩を通じた社会への貢献」は、従来と変わることなく、むしろ、分野の異なる研究者がそれぞれの力を学会という枠組みの中で出し合うことで大きな貢献ができるという意味で、より重要になってくるように思っております。特に、最近の研究の高度化が研究分野の細分化にもつながり、同じ気象学といえども分野の異なる研究を理解することは容易でなくなっているという実情を考えれ

ば、広い分野・さまざまな角度からそれぞれが連携して研究、教育、応用を進めていくことは、気象学会のまとまりと、会員の裾野を広げるためにも重要だと考えております。

当支部は、研究教育機関の方、行政機関の方、気象産業の方、あるいは気象予報士の方などさまざまな分野の方で構成されていると聞いております。さらには、来年で 50 年目となる伊勢湾台風、東海豪雨、愛知県平野部の竜巻、記録的な夏の暑さ等、さまざまな顕著現象があり、研究の対象としても、たいへん興味深い地域です。今後とも、地域の特徴を生かした研究はもとより、さまざまな支部活動を通して、研究が進展し、会員間の連携が深まることを期待しております。今後とも、よろしく願いいたします。

### **2008 年度（平成 20 年度）中部支部総会のお知らせ**

1. 日時 2008 年（平成 20 年）7 月 25 日（金）16 時 00 分から
  2. 場所 名古屋地方気象台 会議室
  3. 総会次第
    - 1) 開会の辞
    - 2) 支部長挨拶
    - 3) 議長選出
    - 4) 委任状及び出席者報告
    - 5) 議案
      - (1) 2007 年度（平成 19 年度）中部支部事業報告
      - (2) 2007 年度（平成 19 年度）中部支部会計報告
      - (3) 2007 年度（平成 19 年度）中部支部会計監査報告
      - (4) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部事業計画案
      - (5) 2008 年度（平成 20 年度）中部支部予算案
- 議案の番号は総会参加票に示された番号です。  
議案の詳細は以下に示します。

### **議案**

#### **議案 (1) 2007 年度（平成 19 年度）中部支部事業報告**

- 5 月 7 日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部常任理事会を開催いたしました。
- 6 月 18 日 支部だより第 64 号を発行しました。湯田支部長の挨拶、総会のお知らせ、議案、第 17 期役員の新補充、公開気象講座の開催予定、支部研究会開催のお知らせなどを掲載いたしました。
- 7 月 25 日 名古屋地方気象台防災対応室及び会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたしました。
- 8 月 26 日 名古屋大学野依記念学术交流館にて、第 13 回公開気象講座を開催いたしました。テーマは「地球温暖化」で、講師に神沢博先生（名古屋大学教授）、江守正多先生（国立環境研究所）と大和田道雄先生（愛知教育大学）を迎えて、地球温暖化に関する分かりやすい講演を行っていただきました。約 40 名の参加者がありました。
- 11 月 9 日 支部だより第 65 号を発行しました。2007 年度支部総会の報告、第 13 回公開気象講座の報告、平成 19 年度気象学会中部支部研究会のお知らせ

せとプログラムなどを掲載しました。

11月19～20日 常滑市の中部航空地方気象台において、平成19年度気象学会中部支部研究会を開催しました。2日間にわたって21件の講演が行われました。研究会終了後に、中部航空地方気象台の施設見学も行われました。

## 議案(2) 2007年度(平成19年度)中部支部会計報告

### 収入の部

単位：円

科 目	平成19年度予算	平成19年度決算	差	備 考
前年度繰越金	3,490,876	3,490,876	0	
交 付 金	586,400	587,600	1,200	注1
公開気象講座補助金	100,000	100,000	0	注2
公開気象講座受講料見込み	35,000	41,990	6,990	
利 息	350	6,732	6,382	
雑 収 入	0	2,500	2,500	注3
合 計	4,212,626	4,229,698	17,072	

### 支出の部

単位：円

科 目	平成19年度予算	平成19年度決算	差	備 考
事 業 費	460,000	589,541	129,541	
内 訳	支部だより印刷	40,000	55,260	5,260
	総会用はがき印刷	10,000		
	支部研究会要旨集印刷	160,000	189,000	29,000
	支部研究会旅費	200,000	215,040	15,040
	選挙投票用紙印刷	0	0	0
	発送費・労務費	50,000	93,360	43,360
	その他	0	36,881	36,881
会 議 費	3,000	2,000	-1,000	
会 議 旅 費	40,000	36,660	-3,340	
公 開 気 象 講 座	200,000	212,931	12,931	
通 信 費	20,000	4,000	-16,000	
消 耗 品 費	20,000	0	-20,000	
予 備 費	3,469,626	3,384,566	-85,060	
合 計	4,212,626	4,229,698	17,072	

注1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200×323=387,600円と均等割200,000円の和で計上(予算計上は322名)

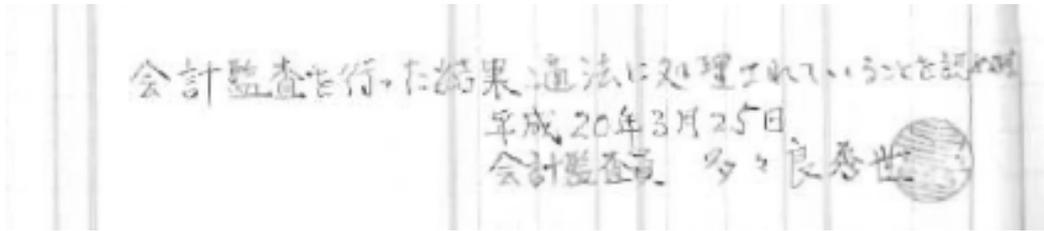
注2：本部からの夏期公開気象講座としての補助金

注3：気象学会中部支部研究会懇親会残額の繰り入れ

注4：気象学会中部支部の会員リスト漏洩に係るお詫びの挨拶状

### 議案 (3) 2007 年度 (平成 19 年度) 中部支部会計監査報告

2007 年度中部支部会計報告について、多々良会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。



### 議案 (4) 2008 年度 (平成 20 年度) 中部支部事業計画案

- 5 月 8 日 名古屋地方気象台会議室において、常任理事会が開催されました。
- 5 月 20 日 支部だより第 66 号 (本号) を発行いたします。
- 6 月 25 日 第 18 期中部支部役員選挙を実施します。
- 7 月 25 日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたします。
- 8 月 25 日 第 14 回公開気象講座を開催いたします。
- 11 月 支部だより第 67 号を発行いたします。中部支部総会の報告、公開気象講座の報告と支部研究会の開催案内、プログラム等を掲載する予定です。
- 11 月 平成 20 年度支部研究会を開催いたします。

### 議案 (5) 2008 年度 (平成 20 年度) 中部支部予算案

#### 収入の部

単位：円

科 目	平成 20 年度予算	平成 19 年度決算	差	備 考
前 年 度 繰 越 金	3,384,566	3,490,876	- 106,310	
交 付 金	587,600	587,600	0	注 1
公 開 気 象 講 座 補 助 金	100,000	100,000	0	注 2
公 開 気 象 講 座 受 講 料 見 込 み	50,000	41,990	8,010	注 3
利 息	6,000	6,732	- 732	
そ の 他	0	2,500	- 2,500	
合 計	4,128,166	4,229,698	- 101,532	

#### 支出の部

単位：円

科 目	平成 20 年度予算	平成 19 年度決算	差	備 考	
事 業 費	590,000	589,541	459		
内 訳	支 部 だ よ り 印 刷	60,000	55,260	4,740	
	総 会 用 は が き 印 刷				
	支 部 研 究 会 要 旨 集 印 刷	200,000	189,000	11,000	
	支 部 研 究 会 旅 費	200,000	215,040	- 15,040	
	選 挙 投 票 用 紙 印 刷	30,000	0	30,000	注 4
発 送 費 ・ 労 務 費	100,000	93,360	6,640		

	そ の 他	0	36,881	- 36,881	
会	議 費	3,000	2,000	1,000	
会	議 旅 費	40,000	36,660	3,340	
公 開	気 象 講 座	400,000	212,931	187,069	注 5
通	信 費	250,000	4,000	246,000	注 6
消 耗	品 費	10,000	0	10,000	
設	備 費	400,000	0	400,000	注 7
予	備 費	2,435,166	3,384,566	- 949,400	
	合 計	4,128,166	4,229,698	- 101,532	

注 1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200×323=387,600円と均等割200,000円の和で計上

注 2：本部からの夏期大学講座としての補助金

注 3：公開気象講座受講料（昨年における収入実績から）

注 4：今年度役員改選が実施されるため計上

注 5：気象の普及活動を積極的に進めていくため増額計上

注 6：ホームページを立ち上げるため、初期費用とその後の通信費用として計上

### 中部支部第 17 期役員 の 補 充

平成 20 年（2008 年）4 月 1 日付けの人事異動により、湯田憲一理事（東海地区）と田沢秀隆理事（東海地区）及び齋藤三行理事（長野・静岡地区）がそれぞれの地区から転出し役員を失格しました。このため日本気象学会中部支部選挙細則第 4 条の規定に従い、東海地区理事の後任として牧原康隆会員と石川生明会員を、長野・静岡地区理事の後任として饒村曜会員を第 17 期理事(任期はいずれも 2008 年 6 月 30 日まで)に委嘱しました。

	新	旧
東海地区理事	牧原康隆（名古屋地方気象台）	湯田憲一（名古屋地方気象台）
東海地区理事	石川生明（中部航空地方気象台）	田沢秀隆（中部航空地方気象台）
長野・静岡地区理事	饒村 曜（静岡地方気象台）	齋藤三行（静岡地方気象台）

また、山田年秋幹事が 2008 年 4 月 1 日付の人事異動により転出したため、海老沢次雄会員が幹事として就任しました。

	新	旧
幹事	海老沢次雄（名古屋地方気象台）	山田年秋（名古屋地方気象台）

### 中部支部第 18 期役員選挙の告示

第 17 期役員の任期が 2008 年 6 月 30 日で満了となりますので、中部支部規約及び中部支部役員選挙細則に基づいて、次期（第 18 期）役員選挙を以下の要領で実施します。

#### 1．選出する役員（注）

東海地区理事	6 名
北陸地区理事	1 名
長野・静岡地区理事	1 名

会計監査

1名

## 2. 立候補の届出

### (1) 候補者の資格

2008年5月8日現在、気象学会中部支部通常会員であるとしてします。

### (2) 届出の手続き

立候補する者は立候補届を、候補者を推薦する者は推薦届を選挙管理委員会に請求し、必要事項（氏名・生年月日・所属機関・役員種別など）を漏れなく記入の上、同委員会に届けてください（郵送可）。

### (3) 届出の期間

2008年6月2日（月）までに選挙管理委員会（下記）に必着とさせていただきます。

### (4) 候補者の資格審査

立候補届出期間終了後、選挙管理委員会において速やかに資格審査を行います。

## 3. 投票

### (1) 有権者資格

2008年5月8日現在、気象学会中部支部通常会員であるとしてします。

### (2) 候補者名簿及び投票用紙

候補者名簿と投票用紙は、立候補者資格審査終了後速やかに作成し、全有権者に郵送する予定です。候補者名簿と投票用紙が2008年6月16日（月）までに届かない有権者は、直ちに選挙管理委員会（下記）まで申し出てください。

### (3) 投票期日

2008年6月23日（月）までに投票用紙を選挙委員会までお送りください。必着とさせていただきます。

### (4) 投票方法

無記名文書投票を行います。投票方法の詳細は投票用紙とともに郵送いたします。

## 4. 開票および結果の公示

### (1) 開票期日

2008年6月25日（水）10時より名古屋地方気象台会議室で行います。有権者はこの開票に立ち会うことができます。

### (2) 当選者及び次点者の順位の決定

細則第3条によるものとします。

### (3) 開票結果の公示

開票結果は当日発表し、当選者に通知します。また、支部だより第67号に公示します。

2008年5月20日

日本気象学会中部支部選挙管理委員会  
〒464-0039 名古屋市千種区日和町 2-18  
名古屋地方気象台気付  
(委員長) 水科 進  
(委員) 佐藤 正男、吉村 香

## 第 14 回公開気象講座のお知らせ

公開気象講座は、夏期大学を含めて今年で 14 回目を迎えます。一般の方々の関心も高く、毎年多くの方の参加をいただいております。今年は「気象観測のブレイクスルー：GPS 掩蔽法」というテーマで、GPS(Global Positioning System)を使用した最新の気温・湿度の観測技術とその予報への応用に関する内容を取り上げ、8 月 25 日に開催する予定です。詳細が決まり次第、会員のみなさまへの開催案内の配布などを通じて、お知らせしていく予定です。

## 平成 20 年度支部研究会のお知らせ

最近の気象学会全国大会では、講演数の増加にともなって、発表時間を十分に取ることができなくなってきております。支部研究会では、各講演の発表時間をできるだけ長く取ることによって、会員のみなさまの間で深い議論を行うとともに、会員のみなさまの間での情報交換を行っていただいております。今年度は 11 月に開催する予定ですが、現時点では開催場所などは未定です。具体的な日程や講演の募集などは、8 月頃にお知らせしたいと考えております。

企画などの問合せ先

〒464 - 8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学地球水循環研究センター  
藤波初木

電話：052 - 789 - 3474

FAX：052 - 789 - 3436

E-mail：hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp

